

会 議 録

会議の名称	和泉市生活排水対策推進協議会【令和7年度（第1回）】
開催日時	令和7年10月3日 10時00分～11時00分
開催場所	和泉市役所5A会議室
出席者	<p>（委員） 藤森会長、池内副会長、前田委員、大田委員、竹元委員、中野委員 （以上6名 順不同）</p> <p>（事務局） 前田室長、藤間課長、甲斐課長、堀場総括主幹、平田総括主幹、 葛城主査、長縄主査、山本主事（以上8名 順不同）</p>
会議の議題	<p>（1）副会長の選出について</p> <p>（2）河川水質の現状について</p> <p>（3）令和6年度・令和7年度事業実績について</p> <p>（4）和泉市生活排水対策推進計画の改定及び今後の進捗管理について</p> <p>（5）その他</p>
会議の要旨	<p>（1）副会長の選出について 副会長には、和泉市町会連合会会長の池内委員が選任された。</p> <p>（2）河川水質の現状について 【事務局説明の概要】 「BODに係る環境基準達成状況」については、令和6年度は全調査地点において、基準値をクリアしていた。</p> <p>（3）令和6年度・令和7年度事業実績について 【事務局説明の概要】 事業計画に基づき、本市において令和6年度・令和7年度に実施した生活排水対策事業実績について報告した。（令和7年度は令和7年6月末時点）</p> <p>（4）和泉市生活排水対策推進計画の改定及び今後の進捗管理について 【事務局説明の概要】 令和6年度に報告した通り、「和泉市生活排水対策推進計画」の計画期間満了に伴う改定に併せて、「和泉市生活排水処理基本計画（和泉市一般廃棄物処理基本計画内に位置付）」と一本化する。計画期間は、令和8年度を初年度、12年度を中間年度、22年度を最終年度として計15年間とする。また、生活排水適正処理率を令和12年度に89.7%、17年度に90.7%、22年度に91.7%にすることを目標とし、将来的には100%を目指すことを明記する。 今回一本化する計画の進捗管理は和泉市ごみ減量等審議会で行うものとし、和泉市生活排水対策推進協議会は、解散も含めて検討する。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必須事項	<p>会議の形式：公開</p> <p>傍聴人：0人</p> <p>議事録の公開：有</p>

<p>主な内容</p>	<p>【質疑応答】</p> <p>(1) 副会長の選出について (意見なし)</p> <p>(2) 河川水質の現状について</p> <p>《委員》 ○30年前の河川のBOD(生物学的酸素要求量)の環境基準はいくらでしょうか。</p> <p>《事務局》 ○当時から変わっていないと思いますが、確認しました報告致します。</p> <p>《委員》 ○河川の調査回数が地点によって異なっていますが、回数は法律や規則的なもので決められているのでしょうか。</p> <p>《事務局》 ○大阪府による河川調査回数は、河川が環境基準点か準基準点のどちらに設定されているかで異なります。具体的には、環境基準点に設定されている父鬼川、榎尾川、松尾川は毎月1回の年12回、準基準点に設定されている東榎尾川は3カ月に1回の年4回調査されています。 市の環境政策室が調査している地点は、業務委託により年4回調査しています。上下水道部が調査している地点(父鬼浄水場取水口)については、水源水質が悪化する時期を含む8カ月間、計8回調査を実施したと伺っております。</p> <p>《委員》 ○環境基準点は、環境白書等に掲載されているのでしょうか。</p> <p>《事務局》 ○大阪府が毎年策定する「水質測定計画」に掲載されています。</p> <p>(3) 令和6年度・令和7年度事業実績について (意見なし)</p> <p>(4) 和泉市生活排水対策推進計画の改定及び今後の進捗管理について</p> <p>《委員》 ○今後の進捗管理の仕方について、最終的には市が決めると説明がありましたが、具体的にどういうことか、もう一度説明をお願いします。</p> <p>《事務局》 ○和泉市生活排水対策推進協議会も、和泉市ごみ減量等推進協議会も、和泉市の「附属機関」であるため、それぞれの附属機関が担任する事務や今後については最終的には市長が決定することになりますが、皆様のご意見をお伺いした上で、今後どうしていくべきか総合的に判断させて頂きたいと考えております。</p>
-------------	--

《委員》

○令和6年度の調査結果を見ると、下水道の普及等により河川の水質環境は改善されてきており、既に行政ができることは十分されていると思われます。今後大きな問題が発生するとは考えにくく、また、生活排水が大きく悪化するようなことがあれば、またその時考えればよいと思われますので、今後の計画の進捗管理については事務局のやりやすいようにやって頂ければと思います。

《事務局》

○承知しました。

これまで和泉市生活排水対策推進協議会で和泉市生活排水対策推進計画を、和泉市ごみ減量等推進協議会で和泉市生活排水処理基本計画の進捗管理を行ってきましたが、2つの計画は重複する部分が多く、概ね同じ内容の報告を2つの附属機関で報告してきた経過があります。今回の生活排水に関する計画の改定に伴う2つの計画の一本化に伴い、進捗管理については、和泉市ごみ減量等推進協議会で一括して行っていきたいと考えております。

和泉市生活排水対策推進協議会については、今後解散も含めて検討していきます。なお、附属機関の解散となると、市議会での手続きが必要になりますので、どのような結果になったか、また報告させていただきます。

《委員》

○特に異議ありません。

(5) その他

(報告事項なし)